

1. (1) $\vec{a}=(3, 2), \vec{b}=(2, -1)$ のとき、次のベクトルの成分を求めよ。
(ア) $\vec{a}+\vec{b}$ (イ) $3\vec{a}-4\vec{b}$
(2) 2つのベクトル \vec{a}, \vec{b} において、 $2\vec{a}-\vec{b}=(4, 1), 3\vec{a}-2\vec{b}=(7, 0)$ のとき、 \vec{a} と \vec{b} を求めよ。また、 $\vec{a}-3\vec{b}$ の大きさを求めよ。
2. (1) $\vec{p}=(-7, 2), \vec{x}=(1, a), \vec{y}=(b, 2)$ とする。等式 $\vec{p}=2\vec{x}-3\vec{y}$ が成り立つとき、 a, b の値を求めよ。
(2) $\vec{a}=(1, 2), \vec{b}=(2, 1)$ であるとき、 $\vec{c}=(11, 10)$ を $s\vec{a}+t\vec{b}$ の形に表せ。
3. 2つのベクトル $\vec{a}=(3, -1), \vec{b}=(7-2t, -5+t)$ が平行になるように、 t の値を定めよ。

4. 3点 A (1, 3), B(3, −2), C(4, 1)がある。
- (1) \overrightarrow{AB} , \overrightarrow{BC} , \overrightarrow{CA} の成分と大きさをそれぞれ求めよ。
 - (2) 四角形 ABCD が平行四辺形であるとき，点 D の座標を求めよ。
 - (3) (2)の平行四辺形について，2本の対角線の長さを求めよ。

5. t は実数とする。 $\vec{a}=(2, 1)$, $\vec{b}=(3, 4)$ に対して， $|\vec{a}+t\vec{b}|$ は $t=$ のとき最小値 $\sqrt{\hspace{1cm}}$ をとる。

6. (1) $\vec{a}=(-3, 4)$, $\vec{b}=(1, -2)$ のとき， $\vec{a}+\vec{b}$ と同じ向きの単位ベクトルを求めよ。
- (2) ベクトル $\vec{a}=(1, 2)$, $\vec{b}=(1, 1)$ に対し，ベクトル $t\vec{a}+\vec{b}$ の大きさが 1 となる t の値を求めよ。
- (3) $\vec{a}=(-5, 4)$, $\vec{b}=(7, -5)$, $\vec{c}=(1, t)$ に対して $|\vec{a}-\vec{c}|=2|\vec{b}-\vec{c}|$ が成り立つとき， t の値を求めよ。

1. (1) $\vec{a}=(3, 2)$, $\vec{b}=(2, -1)$ のとき、次のベクトルの成分を求めよ。
(ア) $\vec{a}+\vec{b}$ (イ) $3\vec{a}-4\vec{b}$
(2) 2つのベクトル \vec{a} , \vec{b} において、 $2\vec{a}-\vec{b}=(4, 1)$, $3\vec{a}-2\vec{b}=(7, 0)$ のとき、 \vec{a} と \vec{b} を求めよ。また、 $\vec{a}-3\vec{b}$ の大きさを求めよ。

【解答】 (1) (ア) (5, 1) (イ) (1, 10)
(2) $\vec{a}=(1, 2)$, $\vec{b}=(-2, 3)$, $\vec{a}-3\vec{b}$ の大きさは $7\sqrt{2}$

【解説】
(1) (ア) $\vec{a}+\vec{b}=(3, 2)+(2, -1)=(3+2, 2+(-1))=(5, 1)$
(イ) $3\vec{a}-4\vec{b}=3(3, 2)-4(2, -1)=(3\cdot 3-4\cdot 2, 3\cdot 2-4\cdot (-1))=(1, 10)$
(2) $2\vec{a}-\vec{b}=(4, 1) \cdots \cdots \text{①}$, $3\vec{a}-2\vec{b}=(7, 0) \cdots \cdots \text{②}$ とする。
① $\times 2$ -② から
 $\vec{a}=2(4, 1)-(7, 0)$
ゆえに $\vec{a}=(2\cdot 4-7, 2\cdot 1-0)=(1, 2)$
これと ① から
 $\vec{b}=2\vec{a}-(4, 1)=2(1, 2)-(4, 1)$
 $= (2\cdot 1-4, 2\cdot 2-1)=(-2, 3)$
よって $\vec{a}-3\vec{b}=(1, 2)-3(-2, 3)=(1-3\cdot (-2), 2-3\cdot 3)$
 $= (7, -7)$
ゆえに $|\vec{a}-3\vec{b}|=\sqrt{7^2+(-7)^2}=\sqrt{98}=7\sqrt{2}$

2. (1) $\vec{p}=(-7, 2)$, $\vec{x}=(1, a)$, $\vec{y}=(b, 2)$ とする。等式 $\vec{p}=2\vec{x}-3\vec{y}$ が成り立つとき、
 a , b の値を求めよ。
(2) $\vec{a}=(1, 2)$, $\vec{b}=(2, 1)$ であるとき、 $\vec{c}=(11, 10)$ を $s\vec{a}+t\vec{b}$ の形に表せ。

【解答】 (1) $a=4$, $b=3$ (2) $\vec{c}=3\vec{a}+4\vec{b}$

【解説】
(1) $\vec{p}=2\vec{x}-3\vec{y}$ から $(-7, 2)=2(1, a)-3(b, 2)$
よって $(-7, 2)=(2-3b, 2a-6)$ ゆえに $-7=2-3b, 2=2a-6$
よって $a=4, b=3$
(2) $\vec{c}=s\vec{a}+t\vec{b}$ とおくと $(11, 10)=s(1, 2)+t(2, 1)$
すなわち $(11, 10)=(s+2t, 2s+t)$
ゆえに $s+2t=11, 2s+t=10$ よって $s=3, t=4$
ゆえに $\vec{c}=3\vec{a}+4\vec{b}$

3. 2つのベクトル $\vec{a}=(3, -1)$, $\vec{b}=(7-2t, -5+t)$ が平行になるように、 t の値を定めよ。

【解答】 $t=8$

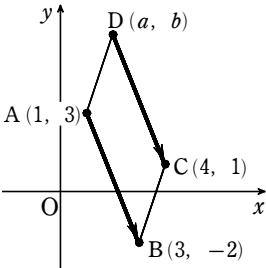
【解説】
 $\vec{a}\neq\vec{0}$, $\vec{b}\neq\vec{0}$ であるから、 \vec{a} と \vec{b} が平行になるための必要十分条件は、 $\vec{b}=k\vec{a}$ を満たす実数 k が存在することである。
よって $(7-2t, -5+t)=k(3, -1)$
すなわち $(7-2t, -5+t)=(3k, -k)$
ゆえに $7-2t=3k \cdots \cdots \text{①}$, $-5+t=-k \cdots \cdots \text{②}$
①+② $\times 3$ から $-8+t=0$
したがって $t=8$
【別解】 $\vec{a}\neq\vec{0}$, $\vec{b}\neq\vec{0}$ であるから、 \vec{a} と \vec{b} が平行になるための必要十分条件は
 $3\cdot (-5+t)-(-1)\cdot (7-2t)=0$
よって $-15+3t+7-2t=0$ したがって $t=8$

4. 3点 A (1, 3), B(3, -2), C(4, 1)がある。
- (1) \overrightarrow{AB} , \overrightarrow{BC} , \overrightarrow{CA} の成分と大きさをそれぞれ求めよ。
 - (2) 四角形 ABCD が平行四辺形であるとき、点 D の座標を求めよ。
 - (3) (2)の平行四辺形について、2本の対角線の長さを求めよ。

解答 (1) $\overrightarrow{AB}=(2, -5)$, $|\overrightarrow{AB}|=\sqrt{29}$; $\overrightarrow{BC}=(1, 3)$, $|\overrightarrow{BC}|=\sqrt{10}$;
 $\overrightarrow{CA}=(-3, 2)$, $|\overrightarrow{CA}|=\sqrt{13}$
 (2) D (2, 6) (3) $\sqrt{13}$, $\sqrt{65}$

解説

- (1) $\overrightarrow{AB}=(3-1, -2-3)=(2, -5)$, $|\overrightarrow{AB}|=\sqrt{2^2+(-5)^2}=\sqrt{29}$
 $\overrightarrow{BC}=(4-3, 1-(-2))=(1, 3)$, $|\overrightarrow{BC}|=\sqrt{1^2+3^2}=\sqrt{10}$
 $\overrightarrow{CA}=(1-4, 3-1)=(-3, 2)$, $|\overrightarrow{CA}|=\sqrt{(-3)^2+2^2}=\sqrt{13}$
- (2) D の座標を (a, b) とする。四角形 ABCD は平行四辺形であるから $\overrightarrow{AB}=\overrightarrow{DC}$
 よって $(2, -5)=(4-a, 1-b)$
 ゆえに $2=4-a, -5=1-b$
 これを解いて $a=2, b=6$
 したがって D (2, 6)
- (3) 2本の対角線の長さは $|\overrightarrow{AC}|$, $|\overrightarrow{BD}|$ である。
 よって、(1) から $|\overrightarrow{AC}|=\sqrt{13}$
 また、(2) から $|\overrightarrow{BD}|=\sqrt{(2-3)^2+\{6-(-2)\}^2}=\sqrt{65}$



5. t は実数とする。 $\vec{a}=(2, 1)$, $\vec{b}=(3, 4)$ に対して、 $|\vec{a}+t\vec{b}|$ は $t=$ のとき最小値 1 をとる。

解答 (ア) $-\frac{2}{5}$ (イ) 1

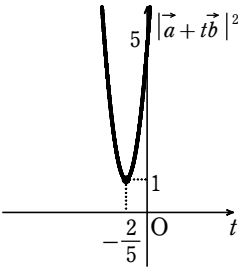
解説

$$\begin{aligned}\vec{a}+t\vec{b} &= (2, 1)+t(3, 4)=(2+3t, 1+4t) \text{ から} \\ |\vec{a}+t\vec{b}|^2 &= (2+3t)^2+(1+4t)^2 \\ &= 25t^2+20t+5=25\left(t+\frac{2}{5}\right)^2+1\end{aligned}$$

ゆえに、 $|\vec{a}+t\vec{b}|^2$ は $t=-\frac{2}{5}$ のとき最小値 1 をとる。

$|\vec{a}+t\vec{b}|\geq 0$ であるから、このとき $|\vec{a}+t\vec{b}|$ も最小となる。

よって、 $|\vec{a}+t\vec{b}|$ は $t=-\frac{2}{5}$ のとき最小値 $\sqrt{1}=1$ をとる。



6. (1) $\vec{a}=(-3, 4)$, $\vec{b}=(1, -2)$ のとき、 $\vec{a}+\vec{b}$ と同じ向きの単位ベクトルを求めよ。
- (2) ベクトル $\vec{a}=(1, 2)$, $\vec{b}=(1, 1)$ に対し、ベクトル $t\vec{a}+\vec{b}$ の大きさが 1 となる t の値を求めよ。
- (3) $\vec{a}=(-5, 4)$, $\vec{b}=(7, -5)$, $\vec{c}=(1, t)$ に対して $|\vec{a}-\vec{c}|=2|\vec{b}-\vec{c}|$ が成り立つとき、 t の値を求めよ。

解答 (1) $\left(-\frac{1}{\sqrt{2}}, \frac{1}{\sqrt{2}}\right)$ (2) $t=-1, -\frac{1}{5}$ (3) $t=-8$

解説

- (1) $\vec{a}+\vec{b}=(-3, 4)+(1, -2)=(-2, 2)$ であるから
 $|\vec{a}+\vec{b}|=\sqrt{(-2)^2+2^2}=2\sqrt{2}$
 よって、 $\vec{a}+\vec{b}$ と同じ向きの単位ベクトルは
 $\frac{1}{2\sqrt{2}}(\vec{a}+\vec{b})=\frac{1}{2\sqrt{2}}(-2, 2)=\left(-\frac{1}{\sqrt{2}}, \frac{1}{\sqrt{2}}\right)$
- (2) $t\vec{a}+\vec{b}=t(1, 2)+(1, 1)=(t+1, 2t+1)$
 $|t\vec{a}+\vec{b}|=1$ となるための条件は $|t\vec{a}+\vec{b}|^2=1$
 よって $(t+1)^2+(2t+1)^2=1$ すなわち $5t^2+6t+1=0$
 ゆえに $(t+1)(5t+1)=0$ したがって $t=-1, -\frac{1}{5}$
- (3) $\vec{a}-\vec{c}=(-6, 4-t)$, $\vec{b}-\vec{c}=(6, -(t+5))$
 $|\vec{a}-\vec{c}|=2|\vec{b}-\vec{c}|$ であるから $|\vec{a}-\vec{c}|^2=4|\vec{b}-\vec{c}|^2$
 ゆえに $(-6)^2+(4-t)^2=4\{6^2+(t+5)^2\}$
 よって $t^2+16t+64=0$ ゆえに $(t+8)^2=0$
 よって $t=-8$